

## 第14回独立行政法人農林漁業信用基金漁業災害補償関係業務運営委員会 議事概要

### 1 日時及び場所

- (1) 日時 令和4年9月27日(火)13時17分～14時8分
- (2) 場所 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階  
独立行政法人 農林漁業信用基金 大会議室

### 2 出席者

※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を鑑み、山下委員長以外の委員出席者及び水産庁以外の主務省出席者は、ウェブ会議形式での参加であった。

#### (1) 運営委員(出資者・学識経験者別 五十音順)

出資者：岩下委員、成田委員、畠山委員、福本委員  
学識経験者：山下委員長、市川委員、伊藤委員、深川委員

#### (2) 信用基金

深水副理事長、北理事、石川理事、庄司総括調整役

#### (3) オブザーバー(主務省)

原口水産庁漁政部漁業保険管理官、竹越水産庁漁政部漁業保険管理官補佐

### 3 提出議案

#### (1) 審議事項

- ① 第4期中期計画の変更(案)について
- ② 令和4年度年度計画の変更(案)について

#### (2) 報告事項

- ① 令和3年度の業務の実績に関する評価について
- ② 中期目標期間(平成30年度～令和4年度)に見込まれる業務の実績に関する評価について
- ③ 中期目標期間終了時における業務・組織全般の見直しについて
- ④ 令和3年度決算について
- ⑤ 令和4年9月までの漁済連に対する貸付状況と今後の貸付けの見通しについて

#### (3) その他

### 4 議事経過の概要及びその結果

上記3(1)の議案について信用基金から説明がなされた後、審議が行われ、原案どおり承認された。また、3(2)①から⑤において信用基金から資料に沿って説明がなされた。最後に、3(2)⑤に関連して、出資者委員から、最近の特徴的な動きについて情報提供がなされた。

運営委員からの主な発言等は以下のとおり。

〈 〉内は、これに対する信用基金の説明

#### 【発言等】

#### (1) 審議事項

- ① 第4期中期計画の変更(案)について

〈 質疑なし 〉

- ② 令和4年度年度計画の変更(案)について

〈 質疑なし 〉

(2) 報告事項

① 令和3年度の業務の実績に関する評価について

〈 質疑なし 〉

② 中期目標期間（平成30年度～令和4年度）に見込まれる業務の実績に関する評価について

〈 質疑なし 〉

③ 中期目標期間終了時における業務・組織全般の見直しについて

〈 質疑なし 〉

④ 令和3年度決算について

〈 質疑なし 〉

⑤ 令和4年9月までの漁済連に対する貸付状況と今後の貸付けの見通しについて

〈 質疑なし 〉

なお、出資者委員から最近の特徴的な動きについて次のとおり報告があった。

- 貸付上限額及び借入上限額の見直しをしてもらったことにより漁業者への共済金の支払いが滞りなくできていることについて感謝。なお、昨年より共済金の支払いは減少しているが、昨今の赤潮被害や台風被害のような自然災害によって大きな支払いがいつ・どこで発生するか分からない状況。昨年の状況からすると、共済金の支払いは減少傾向にあるものの、過去に比べるとまだまだ大きな支払いが続いている。
- 県主力のスルメイカについて、豊漁とまでいかないが、大不漁の昨年と比較して数量で2倍の漁獲がある。長引く不漁で契約者の補償水準が低下しているのもあるが、もう少し漁が続けば、いか釣り漁業は久しぶりに無事故者が増えるのではないかと期待。しかしながら、下半期に事業取扱いの7～8割が集中するので、今後、スルメイカ・サケ・マグロ等の主力魚種の漁に期待したい。
- 直近の情報では、台風14号の関係で、大分県が被害を受けている状況。台風がくる直前に酸欠により、ハマチ・タイ・カンパチ・シマアジ等で被害があった。また、その後の台風により、ハマチ・タイ・カンパチ・シマアジに加え、マグロで擦れ被害もあった。
- ノリ養殖について、2年連続の不作となり打撃をうけている組合も多いが、共済組合の支えによって安心できるということでお褒めの言葉をもらっており、浜ではかなり頼りにされている。

以上